

社会福祉法人 宝安寺社会事業部 求人票		社会福祉法人 宝安寺社会事業部
		《(児 童 部 門)》小田原愛児園・小田原乳児園・ほうあんうみ・ほうあんふじ 《(障害成人部門)》ほうあんのぞみ・ほうあんふじみのさと・ほうあん第一しおん・ほうあん第二しおん 《(相 談 部 門)》ほうあんホット相談カフェ 《(医 療 部 門)》こども発達クリニック ほうあんなぎさ
募集職種【保育士】		

フリガナ	シャカイフクシホウジン ホウアンジシャカイジギョウブ	園児数	定員80名
法人名	社会福祉法人 宝安寺社会事業部	交通機関	
フリガナ	オダハラニョウギン	J R東海道線「小田原」駅下車 徒歩12分	
園の名称	小田原乳児園	国府津行きバス「青物町」バス停下車 徒歩1分	
所在地	〒250-0004 神奈川県小田原市浜町1-2-15	通勤	自宅外通勤可 マイカー通勤可
TEL	0465-22-3030	FAX	0465-24-4411

ホームページアドレス	http://houan1900.jp	園見学	随時開催 (電話又は法人HPの求人応募フォームからお申し込み下さい。)
E-mail	houanji@houan1900.jp	就職説明	随時開催 (電話又は法人HPの求人応募フォームからお申し込み下さい。)
理事長名	望月 郁文	園長名	柏原 多津恵
採用担当者	法人本部長 大水 清世		
教職員総数	保育士・教諭29名 看護師1名 栄養士1名 調理2名 他1名	募集	保育士 1~5人
		資格	保育士資格 幼稚園教諭免許

園の特徴
 「小田原乳児園」は乳児保育を専門とする保育園です。0~1歳が月齢別の5クラスに分かれ、発達段階に添ったきめ細かい保育と縦割り活動を平行的に実践しています。保育士は「和顔愛語 (観音さまの柔和な眼差しと優しい言葉かけをイメージした禅の言葉)」に表現される精神を大切にした保育を目指しています。全クラス複数担任制で、先輩の面倒見の良い温かい職場です。新人職員はチューターとクラスリーダーを軸とした重層的な指導体制の下、保育士としての力量と保育技術の向上を図ることができます。「小田原愛児園」「ほうあんうみ」「ほうあんふじ」とは姉妹園です。【通園バス】なし 【給食】完全給食

初任給	基本給	大学卒 180,000円	勤務	8時30分~17時00分 (実働) 7時間45分	休 暇	
		専門3年制 177,500円	開園時間	〔平日〕7:30~18:30 〔土〕7:30~17:00	休日:	日曜・祝祭日
		短大・専門2年制 175,000円	〔休〕	早番:月2-3回 遅番:月2-3回 土曜:月1-2回	年間休日数:	108日
		諸手当:(特別手当)20,000円 〔住宅手当〕5,000~16,000円 〔扶養手当〕対象者1人あたり5,000~15,000円	賞与	4.4ヶ月 (年2回) 初年度2.2ヶ月(年1回)	昇給	3,000円/月~ (前年度実績)
福利厚生	健康保険、厚生年金、労働保険(雇用・労災)、退職金制度(県福利協会/福祉医療機構)、育児・介護休業制度あり					

提出書類	選考方法	●園見学:随時可(要事前予約)
1. 履歴書	1. 園見学	●就職説明:随時開催(要事前予約)
2. 成績証明書	2. 職場体験(希望者1~5日)	▽
3. 卒業見込証明書	職場体験をしながらの実習を行います。担当職員と振り返りの時間をとりながら、じっくりと子どもたちと関わります(時給983円+給食支給)。	●応募受付と選考日決定:随時 (定員が充足し次第締め切りとなります。)
4. 健康診断書		●選考会場:〔小田原乳児園・法人本部〕 【受付】小田原愛児園 1階 事務所
5. 幼稚園教諭免許取得見込(1・2種)		★当日携行品 ・筆記用具・職場体験の持ち物(希望者のみ) ※詳細は別途お知らせします。
6. 保育士資格取得見込証明書	3. 筆記試験(専門)	▽
7. その他各種資格証明書	4. 面接試験(個人)	○可否通知:選考試験後約1週間でご本人には郵送、学校には電話でお知らせします。
提出方法:園見学時に履歴書(職歴のある方は職務経歴書)を提出していただきます。その他の書類については試験時に提出していただけます。※提出の間に合わない書類については相談可能です。	※選考の順番は前後することがあります。	
《応募について》園見学や職場体験をお奨めています。姉妹園(小田原愛児園・ほうあんうみ・ほうあんふじ)も共に見学されますと法人一体の連携についてより理解していただけます。法人の全体像を把握したい方は就職説明会に参加下さい。採用担当者や園長とじっくり話をする機会を持つことができます。		

《小田原乳児園より一言》
 私たちの園のモットーは「和顔愛語(わげんあいご)」です。園児たちが「愛らしい表情の、目の生き生きとした元気な子」に育つことを願って、柔和な笑顔と、優しい言葉かけを心がけています。赤ちゃんやよちよち歩きの子は誰がみても可愛く、思わず手を出して抱きしめたり、お世話をしたくなります。乳幼児期は親や周囲の大人に、心おきなく甘えたり、十分手をかけてもらいながら、安心して依存できることがとても大事です。自分のして欲しいことが十分満たされることで、3歳頃より、無理なく自立へと向かい、社会性も芽生えてきます。一人ひとりの子どもたちに寄り添い、保護者の方と信頼関係を築きながらの保育を行っています。また、職員一人ひとりが日々、よきチームワークのもとで、保育環境の改善に創意工夫を重ねています。

